

り、連携計画に続き、生活交通ネットワーク計画を策定する。今回の連携計画案では、新年度に地元との協議、公共交通会議での議論、業者選定など1年を検討期間とし、平成27年度から試験運行を行う。

**問** 地元の総代さんから試験運行を行うモデル地区を考えてはどうかということを聞くがどうか。

**答** 形原地区では、公共交通にかかわる要望書が提出され、巡回バスの検討協議会が設置されていると聞いており、候補地となることも考えられるが、公共交通会議において、地元の考えや協力内容を話し合ったうえで対応していく。

**自然災害等での市内の避難所体制は**

**問** 予算大綱では、避難所用品や非常食の備蓄など継続していくようだが、避難所に対する考え方は。

**答** 市内で一時的に集合する避難広場が50カ所、長期に滞在する避難施設が34カ所、台風など少人数の



避難所の場所が記された防災マップ

方が避難する地域避難所が10カ所あり、避難施設34カ所の収容人員は1万3千7百人ほどで、被害予測に係る避難所体制はできているものと考えている。

**問** 今後、愛知県から発表される被害想定は、避難者数が大幅に増えるものと思うが、避難所が不足するのではないか。

**答** 今後、発表される被害想定をもとに、状況に応じた避難所を定めたいと思っている。また、避難所の数は耐震性のある公共施設で、滞在スペースが確保できるものは、施設管理者

と協議して増やしていきたい。民間施設においても協力いただけるようであれば、備蓄品の提供を含め、協定を結び避難所として指定したいと思う。

**新スタンドオープン後の売り上げ向上策は**

**問** 新スタンドオープンを2カ月ほどリリースを休むが、客離れ対策をどのように考えているのか。

**答** お客様の足が少しでも遠のかないよう外向発売所は、3月18日のSG総



リニューアルオープンするポートルース蒲郡 (イメージ)

理大臣杯競走を初め、3場の場外発売を予定し、休催期間を最小限にとどめたいと思う。

**問** オープン後の売り上げ向上策は何か。

**答** 舟券投票の利便性向上を図るため、eーじゃんカードでのキャッシュレス投票機を導入し、有料指定席の一部に在席投票システムを導入する。さらに、場内の接客サービスを充実するため接客担当を増員し、売り上げ向上に努めていきたい。

**公明党蒲郡市議団**  
代表 伊藤勝美

**事業の執行にPDCAサイクルの活用を**

**問** 26年度予算事業を執行するにあたり各部署では、どのようにPDCAサイクルを活用していくのか。

**答** 企画部の情報システム全体最適化事業では、委託業者とサービスレベル協定書を締結し、システム設計・構築・運用の各段階



で常にチェック機能が働く仕組みを導入する。企業再投資促進補助事業では、企業立地推進課が企業訪問等で聞いた意見の中に事業の評価が含まれていると考えるので、引き続き企業訪問を行っていきたい。

産業環境部では、竹島水族館アクアランド水槽改修等工事を含む市の予算以外に指定管理者が行う工事も管理運営業務に関する協定書に基づき施工していく。入館者の情報など指定管理者との情報共有体制を推進し、今まで以上に連携して水族館事業を展開していきたい。また、観光振興に関する事業効果を常に念頭に置き、PDCAサイクルを短縮できるように事業にブ